

学年	単元名・教材名	指導事項	言語活動例	言語活動例
1年	おはなしを たのしもう 「やくそく」	○誰が何をしたのかに気を付けて読み取りながら、内容の大体を捉える。 ○かぎ(「」)に着目し、登場人物が言ったことを捉える。	「お話の続きを考えよう」 3匹のあおむしたちが蝶になるまでの行動や会話を考える。	「ペープサート劇をしよう」 役割を決め、登場人物になりきってペープサート劇を行う。
	登場人物の気持ちを想像して、 「なりきり音読発表会」をしよう 「くじらぐも」	○登場人物がしたことや言ったことに着目し、気持ちを想像する。 ○子供の会話文に想像した音読記号を付ける。	「音読発表会をしよう」 子供たちの気持ちを想像しながら音読する。	「音読劇をしよう」 役割を決め、音読の工夫をしながら劇を行う。
	おかみさんになりきって、 ためぎに手紙をかこう 「ためぎの糸車」	○お話には、いくつかのまとまりがあることを捉える。 ○登場人物のしたことや様子から気持ちを想像する。	「好きなところをカードにまとめよう」 好きな場面を選び、カードにまとめる。	「お話のとびら」 好きな場面や心に残った言葉をまとめる。
	よんで かんじた ことを はなそう 「ずっと、ずっと、大すきだよ」	○登場人物のしたことを中心に気持ちを想像する。 ○感じたことを友達と話し、お話をもっと楽しむ。	「手紙を書こう」 主人公になりきってエルフに手紙を書く。	「読んだ感想を書こう」 「〇〇な気持ちになるお話」と感想を書き、理由をまとめる。
2年	お話を確かめ、なりきり音読をしよう 「ふきのとう」	○登場人物を確かめる。 ○登場人物がしたことや、言ったことが分かる言葉を見付ける。 ○挿絵を手掛かりにして読む。	「なりきり音読をしよう」 なりきる役割を決めて、音読の工夫をしながら音読発表を行う。	「ペープサート劇をしよう」 役割を決めて、音読の工夫をしながらペープサート劇をする。
	お話を読んで 「お話きかん車スイミー」で紹介しよう 「スイミー」	○登場人物のしたことや出来事を、短い言葉で書く。 ○書いたものをつなげて、内容の大体を捉える。	「『お話きかん車スイミー』で紹介しよう」 各場面のあらすじを短くまとめて書き、書いたあらすじを組み合わせ「お話きかん車スイミー」を作る。	「好き場면을紹介しよう」 好きな場面のあらすじと共に、お話の紹介カードを作る。
	登場人物の行動を読み取り、 音読発表会をしよう 「お手紙」	○お話にある言葉や挿絵から、人物がしたことや様子を考える。 ○登場人物がしたことや言ったことの理由を考える。	「音読発表会をしよう」 登場人物の行動や会話の理由などを想像して会話文の音読発表会を行う。	「音読原稿を作ろう」 会話文の読み方を書き込んだ音読原稿を作る。
	登場人物と自分を比べて読み、 感想を交流しよう 「わたしはおねえさん」	○心に残った言葉や文を書き抜く。 ○自分と似ているところや、違うところを考える。 ○自分だったらどうするかを考えながら読む。	「感想カードを交流しよう」 心に残った登場人物の行動や会話と自分を比べて考えたことをカードにまとめて交流する。	「あなたならどうしますかインタビューをしよう」 登場人物の行動に対して、自分だったらどうするかを考え、インタビュー形式で交流する。
	登場人物の様子を中心に読み取り、 感じたことを伝え合おう 「スーホの白い馬」	○登場人物の様子を具体的に読む。 ○お話のどの言葉や文から感想をもったのかをはっきりさせる。 ○友達の感想を聞いて、いろいろな感じ方や考え方があることを知る。	「強く心に残ったことをまとめて伝えよう」 一番心に残った場面について「グッと！きたよ」カードにまとめ、交流する。	「世界各国のお話を楽しもう」 世界の昔話や民話を読み、強く心に残った場面や登場人物の様子を交流する。